

5月18日(水)

本年度第41回(通算2586回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『報告会(宜蘭RC訪問、富良野RC50周年)』 担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

5月14日	足立功一君・萩原昭博君・坂入信行君 大友淳君	富良野RC創立50周年記念式典
-------	---------------------------	-----------------

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

4月27日例会 出席及びメーカー数 40名 出席率 61.5%

☆ニコニコ献金(今年度累計 653,000円)

- ・周年参加の皆様御苦労さまでした 三原克也君
- ・富良野RC及び宜蘭RCの周年参加ありがとうございました 泰地浩幸君
- ・結婚記念日の花束届きました。ありがとうございます 小山義雄君
- ・入会記念日28年目です 高橋邦弘君
- ・宜蘭に行ってきました 中嶋嘉昭君、田村憲一郎君  
石井東洋彦君
- ・富良野RC50周年に行ってきました 坂入信行君
- ・花束ありがとうございました 丹葉一恵さん
- ・27回目の入会記念日です 小松亮次君

☆会長挨拶

皆さんこんにちは。先週末から今週にかけて周年式典がありました。富良野RC50周年式典には当クラブより4名の会員に出席をいただき、また第3490地区宜蘭RCと北RCクラブとの友好クラブの締結式、並びに宜蘭RC56周年記念式典には、当クラブより6名が出席をし熱烈な歓迎を受けて参りました。後ほど例会プログラムの中で報告をしていただきます。泰地幹事が今朝4時までかかって、宜蘭RC訪問の内容をパワーポイントで作成していただきました。周年に参加いただきました皆さんどうもご苦労さまでした。お礼を申し上げ会長挨拶と致します。

☆幹事報告

台湾宜蘭RCと富良野RC様の周年参加ありがとうございました。

①本日の回覧は

- ・台湾宜蘭RCとの友好クラブ締結書
- ・7分区第4回パークゴルフ大会のご案内
- ・釧路北RACよりチャリティフリーマーケット開催のご案内

②古切手及びはがき、募金は今月末までですのでご協力お願い致します。

## ★富良野50周年記念式典参列報告 坂入信行 君

今回、皆様を代表して、私と萩原会員、大友会員、足立PGAの4名で5月14日(土曜)開催の第3分区分の富良野ロータリークラブ創立50周年記念式典に参加させて頂きました。と言うのも我々北クラブの50周年の時に富良野から6名の方が駆けつけて来てくれているので礼儀には礼儀と言う事で沢山会員の皆様と共に参列したかったのですが皆様をご存知のようにアリンコ台湾チームと富良野チームに分かれての行動と言う事で我々4名が(もちろん足立PGAはひな壇です…)富良野の周年記念に参加する運びとなりました。

当日、釧路を11:00に出発して道中、親睦を深めながら3名は段々と深まる緑の深さの違いを感じつつ、そのありのままの自然の姿を大切に表現し、自然と共に暮らし、地元を持ち味を地元の皆様と一体となり上手に表現し、上手に観光地として観光で来られた方々にやはりここを選んで正解だと思わせる、町の売り方をしていいる町である事に改めて関心させられ、流石、倉本聡先生と思わされ、もっと、もっと我々も地元釧路の売り方を見直さなければならぬと痛感しながら、会場である新富良野プリンスホテルに3:00到着しました。登録を終え、さてさて7分区分からは誰々が参加しているかとプログラムを拝見すると残念な事に7分区分からは我々のクラブだけの参加でしたので余計7分区分の面目が立ったのでは無いかと勝手に思い込む我々3人でした。

しかしながら今回一緒に行動して頂いていた、萩原会員、大友会員、足立PGAの方々に謝らなければならない事が起きました。式典終了後、懇親会に出席し、他のクラブの方々とより一層の親睦を深める場面でしたが式典終わりに自分勝手に本当に恐縮ですが私の店から連絡が入り急遽、釧路に8:30までには戻らなくてはならなくなり、一緒に同行して頂いた、方にはゆっくりさせる暇も無く、また、足立PGAには申し訳ありませんがPGAを一人残して式典終了後、釧路にどんぼ帰りしなくてはならなくなりました。

しかし、これでは来た存在感1つ与える事も来た意味もないので誠に申し訳ありませんがそれぞれに少しでも懇親会の始まる前の休憩時間に今後のご自身の委員会他のクラブの方々と打ち合わせをして頂き、少しでも多くの方と交流を持って頂きました。

私は第6分区分の帯広RCの渡辺さん、担当委員長の讃岐さん、現、帯広クラブの後藤さんと米山奨学会についての意見交換をさせて頂き、また、その方々を大友会員に紹介させて頂き、交流を持って頂き、萩原会員にはご自分の国際奉仕の件で3分区分の旭川モックRCの竹村陽子さんと打ち合わせて頂き、少しでもこの集まりに来た実感を同行の方々に持って頂き、後ろ髪を引かれる思いで、足立PGAを一人残して帰路に着く事を本当に申し訳なく思い、何とか釧路に8:30に着き仕事に支障なく済ませて頂きました。一緒に同行して頂いた方にはただただ、慌ただしさしか与えず、足立PGAには寂しいさしか与えずに本当に申し訳ありませんでしたが改めてロータリーの友情の有難さに感謝させた富良野の50周年記念でした。本来はもっと沢山の報告をしなければなりません私の勝手に当日、全ての行事にに参加できずに報告と言う報告が出来ない皆様への謝罪の気持ちと友情に感謝の気持ちを合わせて私の富良野50周年記念参加報告とさせて頂きます。

## ★台湾・宜蘭RC訪問報告 田村憲一郎 君

一昨日RI第3490地区宜蘭RCの56周年記念式典に参加、当北RCとの友好親善を果たして参りました。三原会長・泰地幹事ほか総勢6名で参加したわけですが、旅行の詳細や式典の中身等々、アブラッコイところは皆さんの報告に任せるとして、私は当初旅行参加をお断りしておりました。というのもこの度の東日本大震災で、親戚や知人が福島に沢山おり、正直旅行どころではなかったというのが本音であります。

ただ、今から32年前、お世話になっていた今は亡き前野大先輩や鈴木先輩が、北RCの20周年の年に宜蘭RCを訪問したと聞いておりましたので、

行くとなれば大先輩の供養も兼ねて訪問しなければならないという気持ちもありました。また今回の大震災に台湾国民の巨額の支援、そして先日の報道にもありましたが、台湾の国会議長率いる300人のツアーが、北海道観光の安全PRに来道してくれたこと知り、大げさですが、日本国民の一人として、道民の一人として、震災地に多くの親戚を抱える者として、この機会は台湾に足を運び台湾の方にお礼の一言でも言いたい、そんな心境にかられ急遽参加させて頂きたくことにしました。今日は、台湾に寄せる私の想いを述べさせて頂き報告とさせて頂きました。

## ★台湾漫遊 2日目 石井東洋彦 君

朝から雨。台湾に着いてから台湾を出るまで4日間、ずべて雨。時にはどしゃ降りも。誰か雨男、雨女がいるのでは?今日の日曜日、釧路町の桜まつりが雨だったら、某Nさんが雨男。今のところは、このところ神社のお祭りは大体が雨で、昨日も羽田で1時間ほど我々と別行動だった某Kさんが合流した途端に雨が降り出した某神社の女官司さんが雨女として一歩リードの状況。2日目は雨の台北観光。蒋介石總統を偲ぶために建てられたという「中正記念堂」、外壁が白い大理石の純中国式という非常に大きな建物、衛兵の交代式が有名な数十万の将兵が祀られている、これも広い敷地を持つ「忠烈祠」という建物。台北市最古の仏教と道教のお寺「龍山寺」世界四大美術館の一つといわれる「故宮博物館」。青銅器、陶磁器、彫刻など中国の歴史を伝える美術品や書物70万点あまりが収められており、展示されているのはごく一部ということだが、全部見ようとしたら数時間は必要とのこと。中でも有名なのは、ヒスイで作られ白菜の彫刻、豚の角煮にも見える天然の石。ちょうど日曜日ということもあってか、どこも大混雑だった。西洋人は少なく、周りは我々と同じ顔でも日本語はたまに聞こえるくらいで、観光客も圧倒的に台湾の人たちという感じ。国民としての国への思いとか信仰心の強さ、といったものに圧倒された。「龍山寺」はおみくじが有名で、台湾の人たちの心よりどころなのだろう。数センチ幅の7~8センチある長い板状のものをひくと、下のほうに番号が書いてあってその番号の引き出しから紙を取り出す、というここまでは日本と同じだが、同時にりんごを四等分したような赤く塗ってある木製の物がたくさんある中から形、大きさが同じでぴったり合わさるものを二つ選び、名前、住所、生年月日を唱えながら床に落とす、両方が上を向いているとか裏がでるとか、裏と表が出たとかで願いが叶う、叶わないがわかる。ここで一番熱心に願掛けをしていたのは某女官司さんだった。いざとなれば神様にも仏様にもお願いする日本らしいゆるさを見たような気がした。あちこちで台湾の人たちのやさしさ、親切さが見られた。「がんばれ!日本」と書いていた紙を店頭貼っていた店も2軒見つけた。現地のガイドさんが手配してくれていたスナックでは、5人の女の子が全員それなりに日本語を話せて源氏名は日本語、そのうち2人はかなり日本語での会話がスムーズ。みんなが震災への募金に応じてくれた。みんな気持ち良く、お行儀良く飲んで二日目を終えた。

## ★宜蘭ロータリークラブ訪問5月16日 中嶋嘉昭 君

訪問第3日目、本表敬訪問の目的の宜蘭ロータリークラブとの友好クラブ締結調印と、創立56周年式典、祝賀会に出席して参りました。朝9時に台北のホテルを出発し、九、見学「千と千尋の神隠し」のモデルになった湯婆婆の屋敷で宜蘭RCの会員5名(夫人1名)と打ち合わせを終わらせ、台北市内へ戻って昼食として籠包を堪能致しました。そのあと買い物をはさみ、宜蘭市に向かいました。調印式では、RI第3490地区宜蘭RC、2500地区釧路北RC、3480地区台北北RCの出席者全員の紹介のあと、友好クラブ締結証書に署名を致しました。締結期間は3ヶ年で、調印式に於いて、厳粛な内に三原会長が署名し、心地よい緊張感があり国際奉仕に貢献する期待を持ちました。調印式から祝賀会終了まで、菊池会員の着物姿が一際目立っておりました。

※他に三原会長から訪問の報告、泰地幹事の作製した写真のスライドを見ながらの楽しい報告会でした。